

SBTi POWER SECTOR NET-ZERO STANDARD (SBTi電力セクターネットゼロ基準) 協議用草案のエグゼクティブ・サマリー

2025年9月

免責事項: 本エグゼクティブ・サマリーは、ステークホルダーに概要およびガイダンスを提供することを目的としており、この草案の規範的な一部を構成するものではありません。提案された要件の全範囲については、協議用草案の本文を参照する必要があります。

はじめに

SBTi(科学に基づく目標設定イニシアチブ) Power Sector Net-Zero Standard(電力セクターネットゼロ基準)は、

発電、送電・配電、電力貯蔵、電力取引、小売を行う企業など、電力セクターに属する企業が、地球温暖化の抑制および遅くとも2050年までのネットゼロ排出達成と整合した、短期的・長期的な科学に基づく目標を設定するための枠組みを提供します。

本基準は、SBTiの[電力事業者向けクイックスタートガイド](#)(2020年)に基づいて構築され、それを置き換えるものです。また、SBTi Corporate Net-Zero Standard(企業ネットゼロ基準)と整合し、電力セクターにおける脱炭素化のベストプラクティスを取り入れています。本基準は、電力セクターの企業が、関連するすべての活動および排出量を対象とした目標を設定するために、セクター固有の要件とともに最新版のSBTi Corporate Net-Zero Standardをどのように使用するべきかについて説明しています。

SBTi Power Sector Net-Zero Standardでは、セクターのバリューチェーン全体にわたる活動と排出源をより幅広く対象に含めるためにその範囲を拡大しています。また、排出強度や低炭素電力への移行経路など、特定の活動に合わせた目標設定手法を提案します。また、様々な運用実態を反映するために、新たな指標、目標、活動別分類を導入します。

公開協議用草案の目的

この文書は、SBTi Power Sector Net-Zero Standardの最初の協議用草案です。フィードバックと協議は、関連性があり、堅牢で、実用的な基準を策定するために不可欠です。

公開協議は、専門家諮問グループからの意見やパイロットテストと並んで、基準の開発プロセスにおける重要なステップです。そのため、ステークホルダーに対し、協議調査を通じて本草案を検討し、その内容、明確性および適用可能性に関するフィードバックを提供するよう呼びかけています。この公開協議は、ステークホルダーにPower Sector Net-Zero Standardの策定を形作る機会を提供し、それによって基準が電力セクターの実態を反映し、導入を支援し、気候変動対策を加速することを可能にします。

本草案の主なポイント

SBTi Power Sector Net-Zero Standardの草案では、現在の電力セクター向けのガイダンスと基準に関して、以下に示すいくつかの重要な変更が加えられています。

- 各基準の要件を適用する方法に関する明確化を含む、[SBTi Corporate Net-Zero Standard V2](#)の最初の協議用草案との直接的な関連性。
- 発電、送電・配電、電力貯蔵、電力取引、小売を行う企業を対象とする包括的で明確な範囲。
- 対象範囲に含まれる活動と排出源に基づく、Power Sector Net-Zero Standardの適用性に関する詳細規定。
- 気候変動に関する政府間パネル(IPCC)第6次評価報告書およびIEAネットゼロエミッション・シナリオ(2023年版)に基づき、目標設定に向けて排出強度と低炭素電力の経路を導出するために用いられる更新された経路。
- 発電活動に対して、排出量および低炭素発電に基づき、削減対策のない化石燃料発電容量の段階的廃止に関する追加要件を伴う目標。
- 電力の送電・配電や貯蔵活動における電力損失、電力取引および小売のための低炭素電力購入など、その他のバリューチェーン活動に関する具体的な指標と目標。

公開協議への参加方法

SBTi Power Sector Net-Zero Standardプロジェクトは2024年5月に開始され、[SBTi基準策定に関する標準作業手順書\(SOP\)](#)に沿って策定中です。

本草案は、広範な調査と専任の専門家諮問グループからの意見を基に策定されました。本草案の初版は、2025年9月2日から11月3日まで公開協議に付されます。SBTiでは、本草案に関するすべてのフィードバックを歓迎し、特に以下のトピックについての意見を求めています。

- Power Sector Net-Zero Standard（電力セクターネットゼロ基準）の対象範囲となる活動と排出、およびその適用性。
- 本基準におけるSBTi Corporate Net-Zero Standard V2草案の適用性。
- 基準年の実績を算定するための指標。
- 発電活動に関して、排出量および低炭素発電に関する中間目標を設定するために提案されている選択肢。
- 削減対策のない化石燃料発電容量の段階的廃止および持続可能なバイオマス調達に関する要件。
- 送電・配電における電力損失および貯蔵活動、電力取引および小売活動に関する技術シェア目標など、その他のバリューチェーン活動に関する指標と目標。

フィードバックは、協議調査を通じて提出できます。ご回答の際は、調査全体に回答するか、一部のセクションに回答するかを選択できます。寄せられた意見は、本基準の明確性、信頼性および野心度の強化に資します。選択するセクションによっては、調査の回答は最短で33分程度で完了します。

今後の流れ

公開協議期間を経て、寄せられたすべてのフィードバックは検討および分析されます。フィードバックの概要とその対応内容は、[電力セクター向けWebページ](#)にて適切な時期に公開されます。本草案は、その後、寄せられた意見を踏まえて修正され、専門家諮問グループと連携して技術的なレビューと精緻化が行われます。その後、パイロットテストおよび第2回公開協議のために再度公表されます。パイロットテストと公開協議からのフィードバックは、本草案の改訂にさらに反映されます。本基準は、運用開始前に、技術評議会の承認および理事会の採択のために提出されます。